

令和5年度平塚市市民活動推進補助金

活動報告会

◆開催日 令和6年5月11日(土)

◆会場 ひらつか市民活動センター

活動報告会スケジュール

●開催日：令和6年5月11日(土)

●会場：ひらつか市民活動センター

時間	内容
14:00	活動報告会開会
14:05	活動報告会 ・団体による報告5分、審査委員との質疑3分、審査委員から講評2分 【入門コース 報告】 ① 14:05～ サードプレイスもゆらに 【発展コース 報告】 ② 14:20～ NPO 法人湘南平塚きさわ里地里山ラボ ③ 14:35～ ママぎゅっと ④ 14:50～ NPO 法人しえんのまなび舎 ⑤ 15:05～ ひばり野のなかま達
15:30	閉会

報告団体一覧

●入門コース(1団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	サードプレイスもゆらに	フリースクールを検討している子どもたちの居場所作りとその活動のサポート	9万	P3

●発展コース(4団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	NPO法人 湘南平塚きさわ里地里山ラボ	農作業学習農園事業(草刈作業)	36万	P13
2	ママぎゅっと	平塚子育てポータルサイト「söpöひらつか」作成	20万	P17
3	NPO法人 しえんのまなび舎	手から手へ優しさと温かさを広げる和やかな支援	17万	P22
4	ひばり野のなかま達	ちいき・子ども食堂及び学習支援	14万	P27

令和5年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	サードプレイスもゆらに	
2 事業名	フリースクールを検討している子どもたちの居場所作りとその活動のサポート	
3 コース区分・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> 入門コース ・ <input type="radio"/> 発展コース	9 万円
4 実施期間	(開始期日) 令和5年4月1日 ~ (完了期日) 令和6年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	平塚市には低学年のフリースクールがなく、多様な学び場に繋がる情報も少ない。当会は化学物質過敏や感覚過敏のある子ども達や様々な事情で不登校になり、置き去りになる子ども達を見過ごすことのないように、子ども達の明るい未来のために保護者と共に子どもの健やかな成長を見守り、地域・学校・行政と連携し、安心できる居場所作りを目指す。 子ども達を支援することを目標とする。また保護者同士の交流、支援を行い親子が共に成長し広く社会に貢献できるようなコミュニティ作りをする。多様性が求められる時代に一人一人の違いを認め、受け止められる場として ○自主性を尊重しながら、様々な体験を提供し、ひとり一人の個性と長所、そして生きる力を伸ばす。 ○多様な体験を通して、夢中になれるタネを見つけ、好奇心の芽を伸ばして、大きな花を咲かせる子どもの心の可能性を伸ばす。 ○育児のお話会やおとな勉強会にて、専門家の話を聞き、子育てにとどまらず私たち自身の人間力も高める。 ○『もゆらに=母結案に』…お母さん達が楽しく縁を結び育み、繋いでいくコミュニティを目指す。（孤独や育児不安にならずに、親子で楽しみながら参加出来る）	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	学校が好きな子も、苦手な子もみんなが一緒に参加出来る、オープンで多様な学び場。学校外の第3の居心地のいい、安心して活動出来る居場所。「もゆらに」は自然体験活動を中心にした子どもたちの多様な学び活動の場。 (1)子ども達の物作り体験 ①身体に優しい食べ物作り。（米粉パン・米粉お菓子・米粉の料理） 親子で調理の指導を受ける。6月、7月（8人） ②手芸やクラフト作品作り。（シュシュ・バック・お人形作り。木工作品など） 自分で作りたいものを作る。作品作りを通して、好きなこと、夢中になれることを見つける。その作品を展示する機会や場を設ける。（こどもマルシェの準備） （年13回、1回に5~7人参加。水曜）（子どもマルシェ年1回、展示会1回） 【以上、CafeMamesukeにて。平日参加可能な親子対象】 (2)季節のイベント…自然体験活動や、楽器演奏、食事作り、スポーツなどを取り入れた季節ごとのイベントを開催する。（年4回開催） 【平塚市びわ青少年の家にて。休日参加可能な親子対象】 びわの家（4月23日、7月9日、11月18日、計32人参加）七国荘（5月30日8人参加） (3)おとな勉強会 子どもたちの教育に関するセミナーを開催する(2月17日開催) 【佐藤貴子さん所有建物にて開催。6人参加（子どもたちの作品も展示）】 *子どもたちの作品を展示する機会としてガーデンマルシェ開催（7月2日）	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>子ども達の居場所が出来ることによって</p> <p>○子ども達が安心して様々な活動や学びの体験が出来るようになる。</p> <p>○自然体験や様々な活動を通して、心身ともに健やかに成長することが期待される。更に実際の日常生活に適用できる能力を身に付けることができる。</p> <p>○子ども達同士だけではなく様々な分野の方々との触れ合いを通して社会性を身に付けることができる。（地域の賛同者の見守りと協力により、安心して社会参加ができる心の下地が培われる。）</p> <p>○夢中になれることが見つかったり、成功体験を得ることは子どもたちの自信となり、心の安定に繋がる。また、異年齢との交流によりお互いの違いを認め、助け合い育み合う優しさが培われる場となる。</p> <p>○同じ問題意識を共有する保護者が一緒に集える場、共に子育てのヒントを得ながら話し合える場があるということは、大きな安心感に繋がり自信をもって子育てに励むことができる。</p> <p>学校外の居場所、安心して過ごせる子どもたちの居場所作りとして多様な学びの実践をしてきました。一番に心掛けてきたのは集団の関り、人との交流を欠かさないことでした。安心して過ごせる関りの中で自信をもって過ごして行ける様な場作りを心掛けました。子どもたちのやりたいことを実現していく中で、こどもマルシェなど子どもたちの作品を見てもらう機会を設けたり、様々な人たちとの交流の中で、前向きな気持ちややりたいことを実現していく力が育まれて行きました。様々な業種の大人の関りや、異年齢の子ども同士の交流は、自然と優しさやお互いを認め合う喜びも分かち合える良い関係が築けました。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>活動の中で予定外の変化した点として</p> <p>①パン教室の開催が未就学のお子さんが一緒だと難しく、小学生のみの参加となった。（小さいお子さんのいるお母さんは参加出来なくなった）</p> <p>②びわの家での季節ごとのイベント年4回のうちの1回は、七国荘でのピクニックに変更しました。（七国荘では食事はお弁当でしたので、参加費の徴収はありません）</p> <p>③こどもおとな勉強会として、お話会の開催をしましたが、丁度学級閉鎖など風邪の流行っているピーク時期に開催することとなってしまい、予定より参加者が減ってしまいました。（zoom配信や後日動画配信するなど対応を考えておけばよかったと思いました）</p> <p>④会費の徴収をしきれない場面があった。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>平塚市と伊勢原市で居場所活動は今後も継続の予定です。</p> <p>一人一人が出来ることを手分けして無理なく継続していく形を模索しつつ、準備期間を設けたのちに継続して使用できる居場所を設けたいという希望があります。</p> <p>平塚での活動は今までの形と変化していくものもあると思いますが、依然として子どもたちがほっと安心して過ごせる居場所（不登校の支援も含めて）が求められており、それを安心できる仲間と共に形にして行けるように努力し続けたいと思っています。</p> <p>求める形や支援の形はそれぞれなので、共通認識をもって活動したいと思います。様々な団体さんとの情報交換も積極的にしていきたいと思っています。</p>


活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	収入		支出		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
	予算額 (円)	決算額 (円)	予算額 (円)	決算額 (円)		
① 収 入						
補助金	90,000	90,000			0	平塚市市民活動推進補助金
参加費	49,000	7,000			-42,000	季節イベント×3回 (1組500円×14)
寄付	0	0			0	
事業収益	8,000	6,000			-2,000	こどもマルシェ (売上3000円)、お話し会 (3000円)
団体会員の会費	6,000	15,508			9,508	団体会員年会費の一部を事業費に充当
収入合計	A 153,000	B 118,508	B-A		-34,492	発展コース：補助対象経費 円 × % = 円 補助限度 円
② 支 出						
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
消耗品費	20,000 (12,000)	16,587	0 (0)		-3,413	料理教室の食材
講師謝金	35,000 (17,500)	28,000	28,000 (28,000)		-7,000	こどもたちの教育に関する講演会の講師への謝金15,000円、子どもマルシェ指導の謝金 (1000円×13回数)
その他謝礼	10,000 (0)	15,857	4,000 (4,000)		5,857	パン教室謝礼4,000円 その他謝礼としてお菓子代11,857円
印刷費	16,000 (10,000)	9,330	9,330 (9,300)		-6,670	チラシの印刷代
保険料	12,000 (12,000)	1,434	1,434 (1,400)		-10,566	講師・参加者の保険料 (イベント保険)
材料費	48,000 (38,500)	40,800	40,800 (40,800)		-7,200	手芸作品用に布、綿、糸等。工作材料費。
会場費	12,000 (0)	6,500	6,500 (6,500)		-5,500	講演会等会場費6,500円
支出合計	C 153,000 (90,000)	D 118,508	90,064 (90,000)	D-C	-34,492	
③収支決算額	B 118,508 円	-	D 118,508 円	=	0 円	【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



サードプレイス もゆらに

活動内容

Creative Activities





ものづくりの時間





こどもマルシェに向けて
作品作り



Enjoy!

こどもマルシェ
in herb garden





わくわくな時間!



びわ青少年の家
にて



子どもたちの希望を
形にした活動をしています

ものづくりの
時間
CAFE
MAMESUKEにて



MAMESUKEさん
にて



2023年末の作品たち





いっしょにぼんぼり
 のぼんぼり
 のぼんぼり
 のぼんぼり

作品の飾り付け



蝦名先生



和やかなお話会

学校外の学びについて

令和5年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	NPO法人湘南平塚きさわ里地里山ラボ	
2 事業名	農作業学習農園事業（草刈作業）	
3 コース区分 ・補助額	（以下のどちらかのコースを○で囲んでください。） 入門コース ・ <u>発展コース</u>	36 万円
4 実施期間	（開始期日） 令和5年4月1日 ～ （完了期日） 令和6年3月31日	
5 事業の目的	<p>地域の少子高齢化や後継者不足を背景に、ゆるぎ地区の美しい景観を形作ってきた田畑が耕作放棄地となりつつあり、早晚豊かな里地里山は失われてしまうとの強い危機感から農作業学習農園事業を思い至った。今回、昨年の夏野菜や冬野菜の作付け・追肥・剪定・収穫の農作業学習を市内外10組の方と行ったことを基に、今回、法人会員が行っていた春から夏にかけての草刈り作業を農作業学習参加者とする活動を考えている。これにより、参加者は草刈り機を使った作業学習ができるだけでなく、ゆるぎ地区の草刈り作業を体験することを通じて里地里山保全の活動について考えてもらえる機会になると考えている。さらには、地域への愛着をもってもらい交流人口を増やす1つの活動となってもらいたい。そのため、当法人としては里地里山保全と農業振興活動（農作業学習）を組み合わせた活動となり、活動を発展させることができると考えている。</p> <p>申請書と同じ内容を記入してください。</p>	
6 実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 21組54名が令和5年度農園講習会に参加、令和5年5月～令和6年1月までに12回農作業講習会実施、6月より9月まで計5回、草刈り作業講習会を実施 ・ 資機材等事前準備：刈り払機5台、防護用品（フェイスシールド・脛あて・手袋）5セット、資器材格納庫（物置）1台、イベント保険（賠償責任保険）加入等 ・ 草刈り講習日程 毎回原則5名が作業（場合により3名） <ul style="list-style-type: none"> 第1回6月17日 専門家による刈り払機操作方法、安全指導 第2回～4回7月2日・23日、8月19日 農園及びその周辺を草刈 第5回9月30日 農園に至る農道の草刈 <p>活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。</p> <p>※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。</p>	

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施した ことで良かった点、得 られた成果、確認され た効果などについて記 入してください。</p> <p>また、アンケート等で 参加者や受益者（サー ビスを受けた方）の評 価がわかる場合は、記 入してください。</p>	<p>・例年にない猛暑の中、防護用品をつけて作業は厳しかったものの、会員は不慣れながら予想以上に積極的に作業に参加（含む女性）、作業の大変さを実感しつつ、刈り終わった後の達成感をを楽しんでくれた。</p> <p>・農道の草刈り作業はさらに難易度が上がる（幅が狭い上に下に砂利が敷かれている）ものの、農園での草刈りで作業での慣れもあり安全に作業が進められ、里地里山の景観維持に役立つとともに、保全意識を高めることが出来た。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した 結果、反省点や課題と してあげられる事項に ついて記入してくださ い。</p> <p>また、反省点や課題の 改善方法を検討した り、解決を図った場合 は、その内容を記入し てください。</p>	<p>猛暑の中の作業となったため、体調面等を考慮して1講習会当たりの作業時間を30分程度にしたため、作業経験者がやや片寄り、会員全体が作業に習熟するまでに至っていない。作業実施時間帯（早朝時間帯利用等）、会員間の作業ローテーション方法等を工夫して、より多くの会員が草刈り体験が出来るよう会員とともに検討してゆきたい。</p>
<p>9 今後の 事業展望等</p> <p>活動・事業について今 後も継続的に行うもの であれば、その計画 や、団体としての今後 の活動計画・事業展望 等を記入してくださ い。</p>	<p>NPO法人としては引き続き、草刈り作業等を含めこの地域の里地里山の保全活動を継続してゆくが、農園会員にも講習会を通じてさらに草刈り作業に習熟してもらい、団体スタッフとともに農道を含め広く里地里山の維持保全活動への参加を進め、同時に地域への愛着を育ん行きたい。</p>

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的内容 (積算根拠等)
① 収入				
補助金	360,000	360,000	0	平塚市市民活動推進補助金
団体会員の会費	30,000	30,000	0	団体会員の年会費の一部を事業に充当
農園参加費	51,800	25,121	-26,679	農園参加費の一部を事業に充当
収入合計	A 441,800	B 415,121	B-A -26,679	発展コース：補助対象経費 408,550 円 × 90 % = 367,695 円 補助限度額 360,000 円
② 支出				
物置	142,000 (105,000)	110,000 (110,000)	-32,000	具体的内容 (積算根拠等) 横1,370×奥行950×高さ2,085mm
草刈り機	260,000 (230,000)	214,500 (214,500)	-45,500	5台 @42,900
防護用品	25,000 (22,000)	64,350 (15,800)	39,350	フェイスマスク14,300 すね当て34,100 振動低減用手袋15,950 各5個
保険料	4,800 (3,000)	19,700 (19,700)	14,900	賠償責任保険
燃料タンク	5,000 (0)	3,289 (0)	-1,711	
燃料	5,000 (0)	3,282 (0)	-1,718	
支出合計	C 441,800 (360,000)	D 415,121 (360,000)	D-C -26,679	
③ 収支決算額	B 415,121 円	- D 415,121 円	= 0 円	【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。



物置・刈り払機



刈り払機操作方法・安全指導



農園・周辺の草刈り



農道の草刈り